

# 経済史概論 I

科目ナンバリング ECH-101  
選択必修 2単位

田中 延幸

## 1. 授業の概要(ねらい)

今日の経済は、市場経済あるいは資本主義というシステムを基盤としている。しかし、このシステムは、つい今しがた形成された不変の存在ではない。資本主義的市場経済のシステムは、人類の長い歴史の中の特定の段階において成立し、その後、今日に至るまで発展・変容を遂げてきた。このことを踏まえ、この授業では、資本主義的市場経済が、どのように成立し、どのように発展・変容を遂げてきたのかを説明する。その際、資本主義的市場経済が、同じシステムとはいえ、国や地域によって異なる形態をとってきたことにも留意する。したがって、この授業を通じて、資本主義的市場経済の成立・発展・変容、ならびに、その多様な型について学ぶ。なお、経済史概論 I では、中世からイギリス産業革命までの時代を扱い、経済史概論 II では、19世紀から20世紀初頭までの時代を扱う。

## 2. 授業の到達目標

- (1) 市場経済の成立・発展・変容について理解し、説明することができる。
- (2) 国・地域によって異なる市場経済の多様な型について理解し、説明することができる。
- (3) 日本と世界の経済の現状を歴史の視点から把握する能力を修得する。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への意欲): 40%

期末試験: 60%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

馬場哲・山本通・廣田功・須藤功 『エレメンタル欧米経済史』 晃洋書房

プリントも配布する。

## 5. 準備学修の内容

授業で配布されたプリントやノートを見直し、図書館に所蔵されている関連文献や資料も読んで、各回の授業内容について理解を深める。

## 6. その他履修上の注意事項

経済史概論 II も履修することが望ましい。「経済史概論」は、「西洋経済史」、「日本経済史」、「経済思想史」、「ヨーロッパ経済論」などの基礎となる科目であることから、「経済史概論」の履修後、上記の科目を履修することも推奨する。また、オンラインでレポートを課すことによってオンライン授業を実施することとする。授業内容に関するレポートを作成し、第13回目にあたる授業日の23時59分までにLMSを通じて1ページ分のPDFファイルで提出すること。このレポートに対する評価は点数化され、平常点に組み込まれる。詳細については、授業やLMSを通じて告知する。なお、学生個人からの依頼を受けてオンライン授業を個別に実施することは一切ないので、履修登録の際、注意すること。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 封建社会の構造と変容
- 【第3回】 中世都市とギルド
- 【第4回】 中世ヨーロッパ商業の展開
- 【第5回】 封建社会の動揺
- 【第6回】 近代世界の成立
- 【第7回】 プロト工業化
- 【第8回】 16・17世紀のヨーロッパ経済
- 【第9回】 イギリスの絶対王政と市民革命
- 【第10回】 フランスの絶対王政とフランス革命
- 【第11回】 ドイツの絶対王政と上からの近代化
- 【第12回】 イギリス産業革命の条件
- 【第13回】 イギリス産業革命の展開と帰結
- 【第14回】 レポートの作成と提出: オンライン授業
- 【第15回】 総括と期末試験